

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network
Now

JART情報
<https://www.jart.jp>

2024 No.585
9 / 1

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



第1回日本放射線医療技術学術大会

(第40回日本診療放射線技師学術大会 / 第52回日本放射線技術学会秋季学術大会)

開催概要 (ハイブリッド開催)

大会長あいさつ



第1回日本放射線医療技術学術大会 / 第40回日本診療放射線技師学術大会

大会長 上田 克彦 (日本診療放射線技師会 会長)

第1回日本放射線医療技術学術大会を日本放射線技術学会(JSRT)と合同開催するに当たり、大会長としてごあいさつさせていただきます。合同大会の開催についての検討は、私が日本診療放射線技師会(JART)会長に就任した2020年から始まっております。JART会長就任時の目標の一つに、関係学会との役割を明確にするというものがありません。

JARTが開催する学術大会は、日常診療にすぐに役立つ情報を会員で共有するという特長があります。この学術大会では、厚生労働省の新しい医療政策についての基調講演を中心としたシンポジウム、ハンズオンセミナーによる体験型の企画も少なくありません。このように、診療放射線技師の質向上を目指した大会を開催してまいりました。

一方、JSRTに期待することは最先端の学術研究の成果であり、すぐに医療現場に適用できるものや、10年、20年後に実用化や引用されるような新しい時代を切り開くような活動をお願いしたいところです。この大会を通じてJSRTとJARTそれぞれの役割を再認識いただき、また協働できる事業についても検討いただく機会になることを期待しています。

今回の学術大会は、JARTとしては第40回日本診療放射線技師学術大会であり、沖縄県放射線技師会の皆さまにも実行委員として支えていただいております。通例であれば、大会開催地の久場 匡会長(沖縄県放射線技師会)が大会長を務めるところですが、JSRTとの合同開催であることから私が大会長を務めることになりました。大会テーマの「ゆいまー」は「助け合う」を意味する言葉です。こちらは長野 篤前沖縄県技師会会長の発案によるものです。

大会ロゴもJSRTは緑、JARTは青をメインカラーとして作成しました。両会の特長が生かされた大会となることを信じております。沖縄県での開催は遠隔地のためご不便もお掛けしますが、ハイブリッド開催により、全ての企画がWebでご視聴いただけると思います。

演題については、昨年の熊本大会から「研究」と「報告」の区分に分けております。ぜひ、日常診療の一環で業務改善につながる内容を応募いただきたいと思います。学術講演の他、市民公開講座、特別講演など多彩な企画を準備していますので、これまでとは一風異なった変化のある大会を、ぜひ、楽しみにしていただきたいと思います。最後になりますが、本大会の現地での準備・運営にご尽力いただいております沖縄県放射線技師会の皆さまに感謝申し上げ、この学術大会が皆さまのお役に立てることを祈念しております。



第1回日本放射線医療技術学術大会／第52回日本放射線技術学会秋季学術大会

大会長 白石 順二 (日本放射線技術学会 前代表理事)

今回、日本診療放射線技師会 (JART) と日本放射線技術学会 (JSRT) が合同開催する、最初の記念すべき第1回日本放射線医療技術学術大会 (JCRTM2024) のJSRT側の大会長としてごあいさつ申し上げます。

今回のJARTとJSRTの合同学術大会開催案は、2017年にJSRT-JART将来構想会議から出された「JSRT-JART将来構想会議答申」の中で最初に提案されました。そしてこの答申で提案されたことをテーマに、JARTの上田会長と私とで2020年10月15日に行った「JART-JSRTトップ会談」で、その実現に向けた努力を会員の皆さまにお約束しました。その後、開催の実現に向けて、新たに設置したJSRT-JART協力体制推進特別委員会の中で実施案が検討され、両会の理事会の承認を経て、ようやく実現することができました。

今回の大会のテーマは「ゆいまーる ～診療放射線技術の共創～」で、「相互扶助」を順番に平等に行う「助け合いの心」を意味しており、まさにこの記念すべき第1回の合同学術大会にふさわしいテーマであると思っています。多くの方々にこの学会にご参加いただき、JARTとJSRTのそれぞれの良いところを知っていただき、両会が助け合って活動していくことの大事さを分かってもらいたいこそ、私が一番望むことです。

本大会は、JARTの第40回学術大会とJSRTの第52回秋季学術大会の併催となっていて、その全体の企画は両会がこれまで築き上げた大会開催の基礎の上に成り立っています。時間や場所的な都合で、例年開催されていたことがカットされたり、縮小されている部分があると思いますが、できるだけ両方の大会にこれまで参加されてきた会員の皆さまにとって違和感がないように、しかし、新しい風を感じることができるようにと、合同委員会の委員全員が知恵を絞って企画を考えています。

学術大会のメインである演題発表については、発表者のJART、JSRTの所属に関係なく、関連分野ごと、そして報告と研究という区分別に演題を募集する予定です。沖縄の地で繰り広げられる活発な議論や質疑応答を実現するためにも、皆さまからの数多くの演題応募をお願い致します。

さらに！ 学会期間中の情報交換会では、参加者全員でカチャーシーを踊りながら「イーヤーサーサー」と「ハーイーヤー」と掛け合いながら、心地よい酔いの中、楽しい汗を流して交流を深めましょう！ 皆さまのお越しを合同実行委員会一同、心よりお待ちしております。

大会概要

大会テーマ

ゆいまーる 診療放射線技術の共創 All Japan Radiological Technology

■ 会 期：2024年10月31日(木)～11月3日(日)

- 10月31日(木) 開会式、一般口述発表(研究・報告)、ポスター発表(研究・報告)、緊急報告企画、学術企画①～④、JIRAワークショップ、ランチョンセミナー、企業展示
- 11月 1日(金) 特別講演①、教育講演①、一般口述発表(研究・報告)、ポスター発表(研究・報告)、学術企画⑤～⑬、沖縄県企画、教育セミナー①②、情報提供講座①～⑤、JIRA発表会、ランチョンセミナー、イブニングセミナー、企業展示
- 11月 2日(土) 特別講演②、教育講演②、第1回大会開催記念企画、一般口述発表(研究・報告)、ポスター発表(研究・報告)、学術企画⑭～⑳、教育セミナー③～⑧、情報提供講座⑥⑦、ランチョンセミナー、企業展示、情報交換会、式典
- 11月 3日(日) 教育講演③、市民公開講座、一般口述発表(研究・報告)、学術企画㉑㉒、教育セミナー⑨～⑪、情報提供講座⑧⑨、ランチョンセミナー、企業展示、閉会式

■ 会 場：沖縄コンベンションセンター＋Web(オンデマンド配信) ※ライブ配信はありません

URL <https://www.oki-conven.jp> 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1 TEL 098-898-3000

- 受付時間：10月31日(木) 9時00分～17時00分(18時30分)
11月 1日(金) 8時30分～17時00分(18時30分)
11月 2日(土) 8時30分～17時00分(20時45分)
11月 3日(日) 8時30分～12時00分(16時00分) ※ () はクロークの終了時間

■ 協賛団体：一般社団法人日本ラジオロジー協会

■ 後援団体：一般社団法人日本医療情報学会

空港及び市内から沖縄コンベンションセンターへの移動について

市内よりシャトルバスを会場まで運行予定ですが、混雑が予想されます。

※シャトルバス運行予定は確定しましたらWebサイトなどへ掲示いたします。

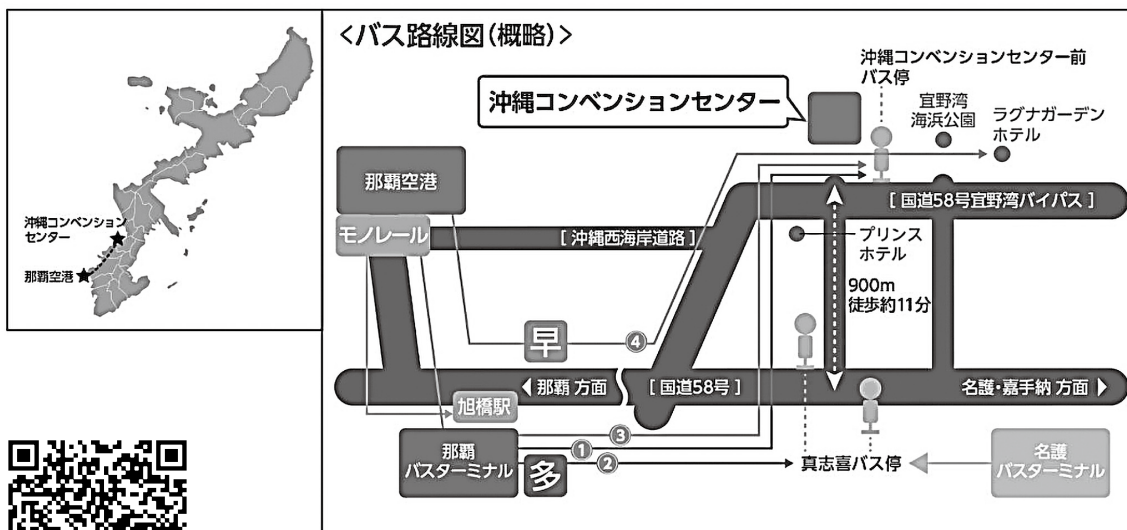
当日、市内バスをご利用される方は**バス路線の系統により所要時間が大幅に異なります**。また、**時間帯によっては渋滞などで所要時間の遅延**があります。事前にご確認の上時間に余裕をもってご移動ください。

A：空港から沖縄コンベンションセンター

- 1) 路線バス－空港3番乗り場から那覇バスターミナル経由沖縄コンベンションセンター前バス停まで約50～70分(660円)
系統番号 26番(50分)・99番(70分)
- 2) 空港リムジンバス－空港12番乗り場からラグナガーデンホテルまで約55分(610円)
※沖縄コンベンションセンター前には停まりません。ラグナガーデンホテルから沖縄コンベンションセンターまで徒歩約10分
- 3) モノレール(乗り継ぎで便利な旭橋駅と古島駅まで)－路線・時刻表・空港から旭橋駅まで約11分(270円)、旭橋駅からバスターミナルまで徒歩3分・空港から古島駅まで約21分(340円)、古島駅から沖縄コンベンションセンターまでタクシーで約15分

B：那覇バスターミナルから沖縄コンベンションセンター

- 1) 那覇バスターミナルから沖縄コンベンションセンター前バス停 約40～60分(610円)
※系統番号 26番・32番・43番・55番(約40分)・112番(約50分)・99番(約60分)
- 2) 那覇バスターミナルから真志喜バス停まで約40～45分(610円/徒歩約11分、便数多し)
※系統番号 20番・77番・120番(約45分/国際通り経由) 23番・29番・63番(約35分/久茂地経由)・31番(約50分/久茂地経由)

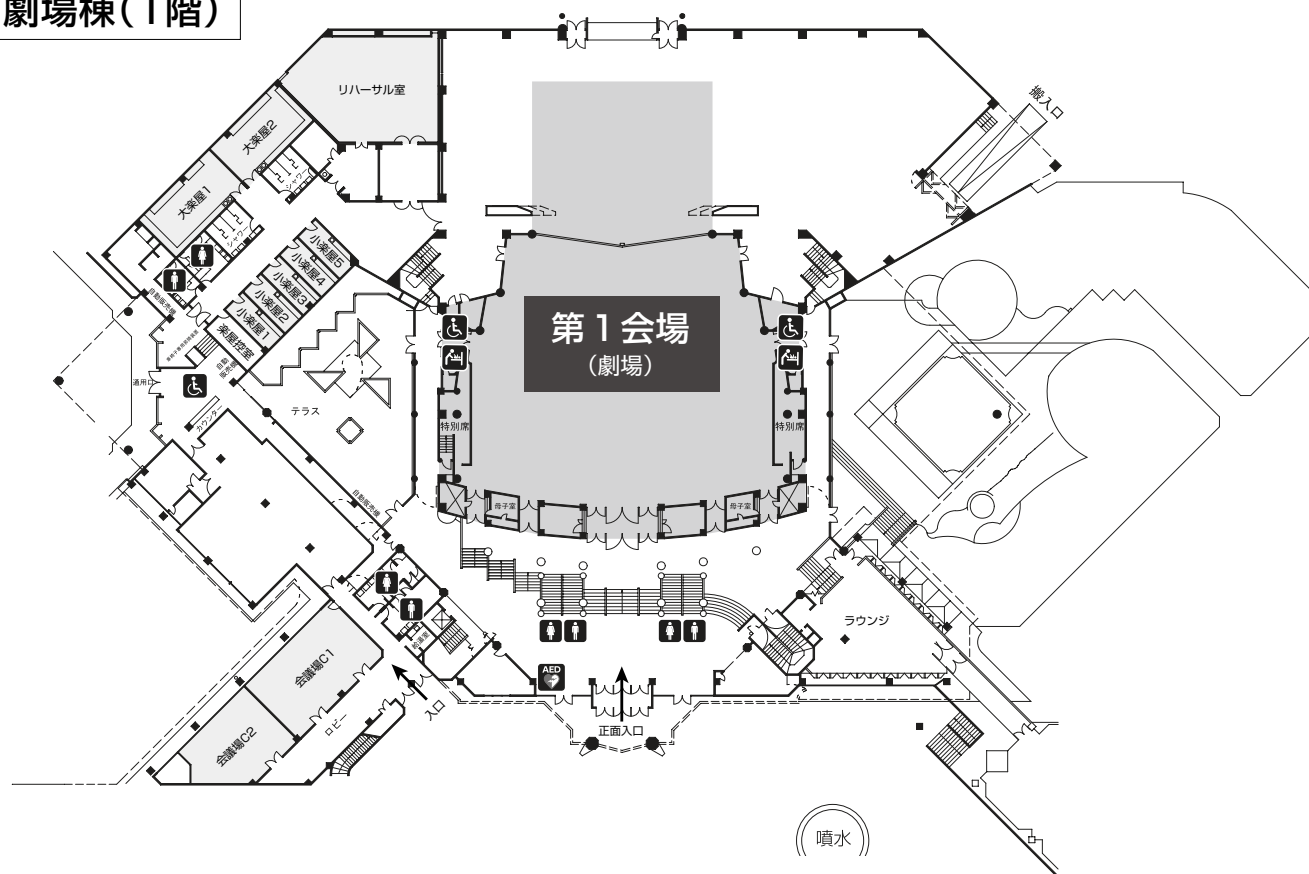


※時刻表などのリンクは学術大会Webサイトより確認できます
<https://www.linkage-okinawa.co.jp/jcrtm2024/access.html>

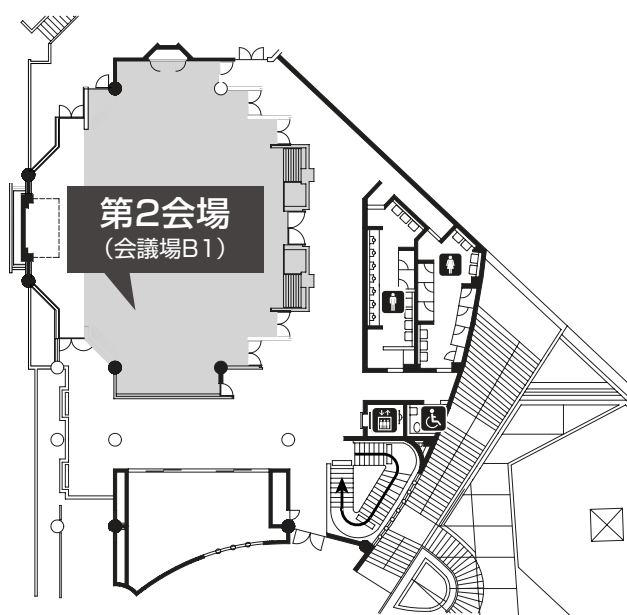
会場案内



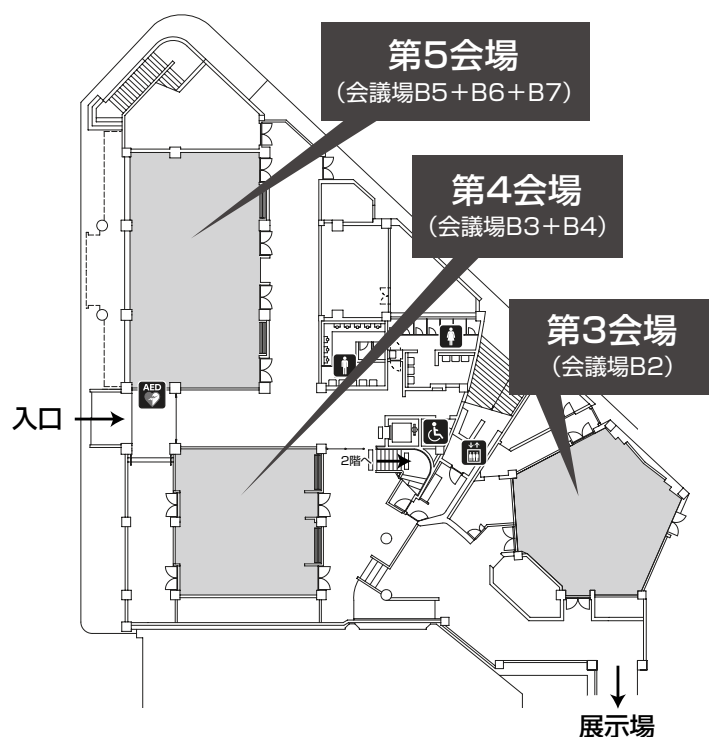
劇場棟(1階)



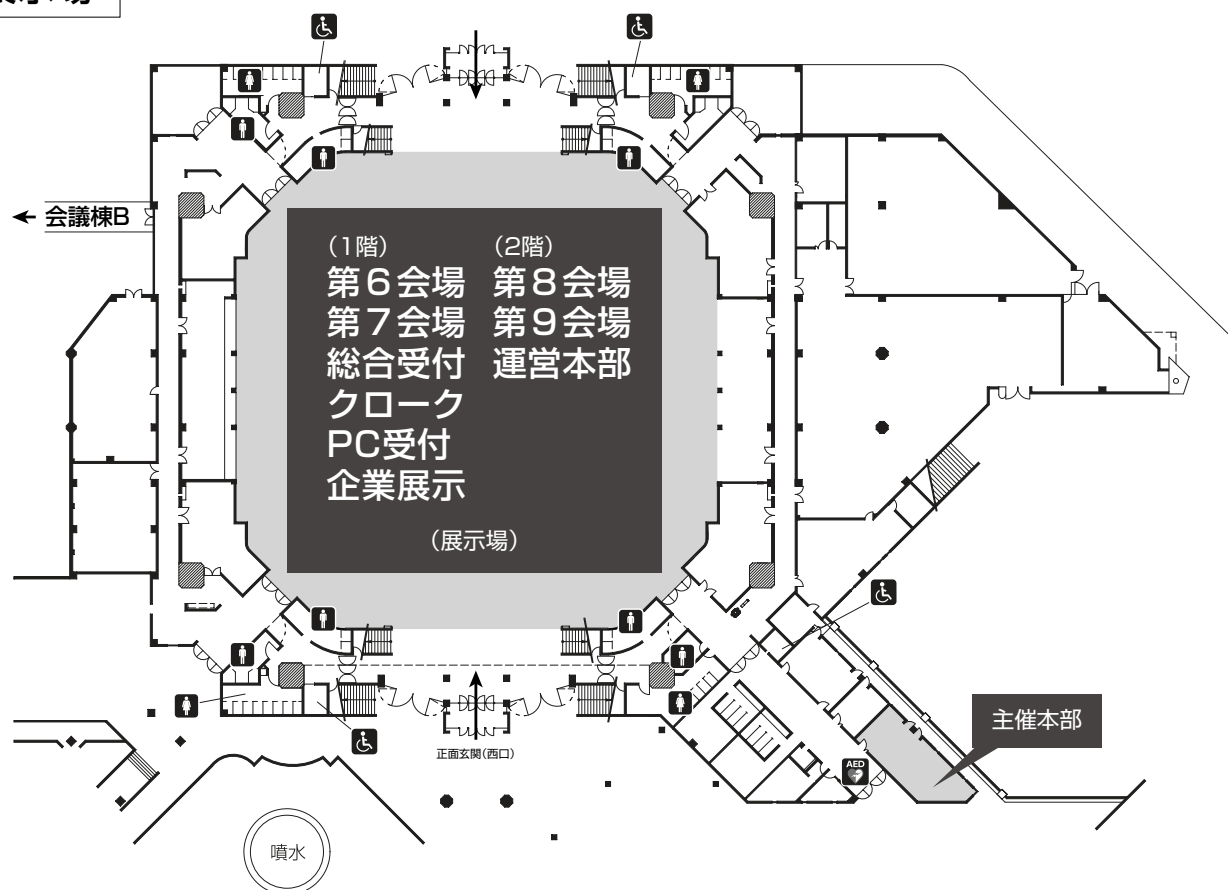
会議棟B(2階)



会議棟B(1階)



展示場



第1回日本放射線医療技術学術大会プログラム概要

大会長 (JART) 上田 克彦
大会長 (JSRT) 白石 順二
実行委員長 (JART) 富田 博信
実行委員長 (JSRT) 奥田 保男

特別講演①

11月1日(金) 13:10~14:30 (第1会場 (劇場))
「デジタル脳プロジェクトのめざすもの」

司会 福岡国際医療福祉大学 白石 順二
沖縄科学技術大学院大学 神経計算ユニット 銅谷 賢治

特別講演②

11月2日(土) 13:10~14:30 (第1会場 (劇場))
「宇宙放射線の観測衛星からフォトンカウンティングCTまで ~新しい放射線イメージングを支える半導体を沖縄から~」

司会 国際医療福祉大学 上田 克彦
株式会社アクロアド 大野 良一

教育講演①

11月1日(金) 14:40~15:30 (第1会場 (劇場))
「STAT画像: 典型例と知っていて損はないプラスアルファの所見」

司会 琉球大学病院 青山 信和
琉球大学大学院 西江 昭弘

教育講演②

11月2日(土) 9:00~9:50 (第1会場 (劇場))
「心臓血管外科領域における手術支援画像の必要性とその実際 ~画像構築スキルは、手術成績向上、合併症回避に不可欠なツール~」

司会 千葉市立海浜病院 高木 卓
琉球大学病院 永野 貴昭

教育講演③

11月3日(日) 9:00~9:50 (第1会場 (劇場))
「診療放射線技師の一次照合に期待するもの」
みんなで考える Image-Guided Radiation Therapy (IGRT)

司会 多根総合病院 川守田 龍
琉球大学病院 有賀 拓郎

第1回大会開催記念企画

11月2日(土) 15:30~17:30 (第1会場 (劇場))
「All Japan Radiologyの実現に向けて」

- ① JARTの立場から (仮題)
- ② JSRTの立場から (仮題)
- ③ JRCの立場から (仮題)
- ④ JRSの立場から (仮題)
- ⑤ JCRの立場から (仮題)
- ⑥ JIRAの立場から (仮題)
- ⑦ 第1回日本放射線医療技術学術大会開催への道のり

司会 実行委員長 (JART) 富田 博信
司会 実行委員長 (JSRT) 奥田 保男
日本診療放射線技師会 会長 上田 克彦
日本放射線技術学会 代表理事 石田 隆行
日本ラジオロジー協会 代表理事 青木 茂樹
日本医学放射線学会 理事長 富山 憲幸
日本放射線科専門医会・医会 理事長 山田 恵
日本画像医療システム工業会 会長 瀧口 登志夫
日本放射線技術学会 前代表理事 白石 順二

緊急報告企画

10月31日(木) 11:00~11:50 (第1会場 (劇場))
「令和6年能登半島地震への支援活動報告」

- ① JARTの災害支援体制とオフサイト対応 (20分)
- ② 石川県庁調整本部および被災医療施設支援のオンサイト活動報告 (20分)

司会 日本診療放射線技師会 副会長 富田 博信
司会 日本診療放射線技師会 理事 (災害対策委員長) 界外 忠之
日本診療放射線技師会 副会長 江藤 芳浩
日本診療放射線技師会 業務執行理事 江端 清和

市民公開講座

11月3日(日) 13:40~15:00 (第5会場 (B5-7))
「おきなわ津梁ネットワークについて (仮題)」

- ① 沖縄県民の健康を護る EHRを目指すおきなわ津梁ネットワーク
- ② 沖縄で日本初の試みを -津梁ネットワークとの協働と将来-

司会 実行委員長 (JART) 富田 博信
司会 実行委員長 (JSRT) 奥田 保男
沖縄県医師会 比嘉 靖
量子科学技術研究開発機構 神田 玲子

沖縄県企画

11月1日(金) 17:10~18:00 (第1会場 (劇場))
「水族館でX線を使ってみました」
「沖縄美ら海水族館の健康管理 ~画像診断を中心に~」

司会 友愛医療センター 西尾 康孝
北部地区医師会北部地区医師会病院 関口 智子
沖縄美ら島財団附属動物病院 植田 啓一

学術企画① (日本放射線技師教育学会・JSRT教育委員会)

10月31日(木) 13:10~14:30 (第3会場 (B2))

「教育の在り方と社会貢献を考える」

- ① 診療放射線技師のための新人教育に向けた取り組み
- ② JARTの考える診療放射線技師のための教育事業の取り組み
- ③ JSRTの考える学生・若手研究者の育成
- ④ JSRTにおける放射線技術学発展のための教育事業の取り組み

司会 鈴鹿医療科学大学 武藤 裕衣
司会 神戸常盤大学 對間 博之
東京慈恵会医科大学附属病院 斉藤 亮
新潟医療福祉大学 児玉 直樹
金沢大学 松原 孝祐
岐阜医療科学大学 西出 裕子

学術企画② (JART倫理委員会、JSRT倫理審査委員会)

10月31日(木) 14:40~16:00 (第3会場 (B2))

「両会の研究倫理・報告等について」

- ① JSRTにおける研究倫理規程ガイドンスの解説と症例報告の取り扱いについて
- ② JARTの倫理審査方針と倫理規定ガイドンスについて
- ③ 倫理審査機能を有しない所属機関の方へのサポート

司会 量子科学技術研究開発機構 奥田 保男
司会 鈴鹿医療科学大学 武藤 裕衣
都島放射線科クリニック 辰己 大作
新潟医療福祉大学 児玉 直樹
量子科学技術研究開発機構 奥田 保男

学術企画③ (JART骨関節撮影分科会、JSRT撮影部会・画像部会)

10月31日(木) 16:10~18:00 (第1会場 (劇場))

「X線撮影の標準化を考える」

- ① 股関節X線撮影の現状について
- ② 肩関節X線撮影の現状について
- ③ 撮影システムについて
- ④ デジタルラジオグラフィシステムにおける画質と撮影線量の理解

司会 りんくう総合医療センター 中前 光弘
司会 滋慶医療科学大学大学院 安藤 英次
昭和大学病院 菊原 喜高
下田メディカルセンター 鈴木 義曜
北里大学病院 関 将志
鈴鹿医療科学大学 東出 了

学術企画④ (JART放射線管理士分科会・医療被ばく安全管理委員会、JSRT計測部会)

10月31日(木) 16:10~18:00 (第2会場 (B1))

「JART with JSRT計測部会 求められる線量管理時代～医療被ばく低減施設認定事業開始から20年 これから認定取得を目指す方へ～」

- ① 改正医療法施行規則と医療被ばく低減施設認定の関係性 (放射線診療における安全性の確立と第三者認定の必要性)

- ② 実測による装置表示値の確認方法およびその重要性

- ③ 医療被ばく低減施設認定を取得して～放射線検査に対する安全性の可視化と受審による変化～

司会 名古屋大学 小山 修司
司会 聖マリアンナ医科大学 川崎市立多摩病院 吉田 篤史
聖マリアンナ医科大学病院 佐藤 寛之
東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 庄司 友和
中東遠総合医療センター 糟谷 信貴

学術企画⑤ (JART STAT画像報告委員会、JSRT撮影部会・教育委員会・学術委員会)

11月1日(金) 10:00~11:50 (第1会場 (劇場))

「診療放射線技師によるSTAT画像報告」

- ① STAT画像報告におけるpre/postアンケート報告
- ② 施設内でのSTAT画像報告体制の変化:小規模病院
- ③ 施設内でのSTAT画像報告体制の変化:中規模病院
- ④ 施設内でのSTAT画像報告体制の変化:大規模病院
- ⑤ STAT画像症例の見落としをしないためのポイント
- ⑥ 一般撮影画像を支える放射線技術
- ⑦ CT画像を支える放射線技術
- ⑧ MRI画像を支える放射線技術

司会 順天堂大学医学部附属順天堂医院 木暮 陽介
司会 岐阜医療科学大学 西出 裕子
昭和大学病院 片桐 江美子
奥州市総合水沢病院 高橋 伸光
済生会熊本病院 高本 聖也
順天堂大学医学部附属順天堂医院 赤津 敏哉
国立病院機構水戸医療センター 田中 善啓
りんくう総合医療センター 中前 光弘
岐阜大学医学部附属病院 三好 利治
熊本大学病院 森田 康祐

学術企画⑥ (日本医用画像管理学会、JART医療画像情報精度管理士分科会、JSRT医療情報部会)

11月1日(金) 10:00~11:50 (第2会場 (B1))

「医用画像領域における医療情報再考」

- ① 医療情報部会の学術活動について
- ② 日本医用画像管理学会 活動内容
- ③ 日本医用画像管理学会 国際交流事業
- ④ 医療画像情報精度管理士分科会活動の今までとこれから

司会 旭川医科大学 谷 祐児
司会 星総合病院 続橋 順市
司会 熊本大学病院 池田 龍二
熊本大学病院 川俣 祐貴
広島記念病院 加藤 雅士
株式会社フィリップス・ジャパン 秋田 裕介
白河厚生総合病院 石森 光一

学術企画⑦ (JART医療安全対策委員会、JSRT医療安全委員会)

11月1日(金) 10:00~11:50 (第3会場 (B2))

「業務拡大の現状及び教育機関を含めた今後の展開」

司会 久留米大学病院 川田 秀道
司会 聖隷袋井市民病院 山本 英雄

- ① 業務範囲の拡大、告示研修の意義等について
- ② 告示研修の全国状況
- ③ 教育機関として学生への実習状況と問題点
- ④ 臨床の現場として実際の状況と業務拡大後の医療安全について
- ⑤ 臨床の現場として実際の状況と業務拡大後の医療安全について

厚生労働省医政局医事課医事専門官 柳田 聡
 地域医療振興協会 東京北医療センター 菊地 克彦
 新潟総合学園 新潟医療福祉大学 前島 偉
 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 西尾 直美
 北見赤十字病院 大友 厚志

学術企画⑧ (JART診療報酬政策立案委員会)

11月1日(金) 13:10~14:00 (第3会場 (B2))

「診療報酬と必要とされる診療放射線技師」

- ① 評価されるべき医療安全の考え方
- ② 評価されるべき医療の質の考え方

司会 日本診療放射線技師会 江端 清和
 司会 倉敷中央病院 田淵 隆
 新潟大学医歯学総合病院 金沢 勉
 順天堂大学医学部附属順天堂医院 木暮 陽介

学術企画⑨ (JART災害対策委員会・災害支援認定診療放射線技師分科会)

11月1日(金) 14:10~15:00 (第3会場 (B2))

「放射線災害対応 ～避難退域時検査と甲状腺モニタリング～」

- ① 鳥根県で開催されている避難退域時検査の実際
- ② 甲状腺被ばく線量モニタリング検査について

司会 兵庫県災害医療センター 中田 正明
 司会 岡波総合病院 界外 忠之
 鳥根県立中央病院 矢田 俊介
 福島県立医科大学 大葉 隆

学術企画⑩ (JART消化管画像分科会、JSRT画像部会)

11月1日(金) 15:10~17:00 (第2会場 (B1))

「透視検査における画質とノイズ低減技術の変遷 ～画像ノイズの理解と抑制～」

- ① ノイズに関わる因子と低コントラスト検出能への影響
- ② 消化管X線検査における重要な低コントラスト所見
- ③ ノイズを低減する画像処理技術と画質評価
- ④ 時間軸を対象としたノイズ低減技術と画質評価
- ⑤ 透視検査におけるAI技術を用いたノイズコントロール

司会 鈴鹿医療科学大学 東出 了
 司会 東葛病院 安藤 健一
 大阪大学大学院 山崎 明日美
 東葛病院 安藤 健一
 東北大学病院 小野寺 崇
 東海大学医学部付属八王子病院 青木 聡
 小倉記念病院 佐保 辰典

学術企画⑪ (JART検査説明委員会・チーム医療推進委員会)

11月1日(金) 15:10~16:30 (第3会場 (B2))

「医師のタスク・シフト/シェアを進めるために -3年目の現在地と今後の期待-」

- ① 診療放射線技師の業務としての検査説明および同意書受領
- ② タスク・シフト/シェアの現状
- ③ 診療放射線技師に期待するタスク・シフト/シェアについて ～看護師の視点で見たカテ室の動き～

司会 東京臨海病院 藤井 雅代
 司会 函館五稜郭病院 小林 聖子
 日本診療放射線技師会 江端 清和
 熊本赤十字病院 西小野 昭人

- ④ タスク・シフト/シェアの推進と診療放射線技師業務

沖縄県立中部病院 屋比久 絵里奈
 西田病院 江藤 芳浩

学術企画⑫ (JSRT教育委員会)

11月1日(金) 15:40~16:20 (第1会場 (劇場))

「画像解剖①」

- ① 科学的・臨床病理学的根拠に基づいた乳腺画像診断 -乳腺画像のその先を読み込む新時代の乳腺画像診断に向けて-

司会 岐阜医療科学大学 西出 裕子
 那覇西クリニック 玉城 研太郎

学術企画⑬ (JSRT教育委員会)

11月1日(金) 16:20~17:00 (第1会場 (劇場))

「画像解剖②」

- ① 画像解剖 腹部領域 (仮題)

司会 杏林大学 坂本 岳士
 沖縄県立中部病院 安谷 正

学術企画⑭ (JART画像等手術支援分科会、JSRT撮影部会)

11月2日(土) 10:00~11:50 (第1会場 (劇場))

「手術支援画像作成のためにすべきことは」

- ① CT撮像技術
- ② MR撮像技術
- ③ 脳神経領域の手術支援
- ④ 腹部領域の手術支援

司会 新潟大学医歯学総合病院 金沢 勉
 司会 柏葉脳神経外科病院 平野 透
 国立がん研究センター中央病院 瓜倉 厚志
 大阪大学医学部附属病院 垂脇 博之
 秋田県立循環器・脳脊髄センター 大村 知己
 札幌医科大学附属病院 田仲 健朗

学術企画⑮ (JART放射線機器管理士分科会、JSRT標準化委員会)

11月2日(土) 10:00~11:50 (第2会場 (B1))

「放射線医療機器の安全管理の“これまで”と“これから”」

司会 小田原循環器病院 今井 宜雄

- ① これからの医療機器の安全管理に対する提言（仮題）
- ② 医療機器の安全管理に係る法制化等について
- ③ ホームメイドアプリによる保守管理の課題と対応（仮題）
- ④ レディメイドアプリによる保守管理の課題と対応（仮題）
- ⑤ 情報通信技術と標準規格でつなぐ保守管理を考える

座長	国立がん研究センター東病院	村松 禎久
座長	東京北医療センター	菊地 克彦
座長	帝京大学	小林 隆幸
座長	帝京大学医療技術学部	齋藤 祐樹
	医療機器センター	青木 郁香
	純真学園大学	中村 泰彦
	九州大学病院	加藤 泰幸
	国立がん研究センター東病院	太田 博之
	東北大学	坂本 博

学術企画⑩（JSRT核医学部会）

11月2日（土）13:10～14:30（第5会場（B5-7））

「現場で診断に寄与する撮像技術」

- ① 心筋血流シンチの信頼性向上へ ～臨床で役立つ心外集積抑制法～
- ② 腹臥位乳房PET/CT検査マスターへの道
- ③ センチネルリンパ節シンチグラフィに求められる知識と技術

司会	国立大学法人 香川大学医学部附属病院	門田 敏秀
司会	島根大学医学部附属病院	矢田 伸広
	白河厚生総合病院	小室 敦司
	MIクリニック	桃井 理紗
	川崎医科大学総合医療センター	宮井 将宏

学術企画⑪（JART国際委員会、JSRT国際戦略委員会・アジア放射線技術教育支援特別委員会）

11月2日（土）14:40～16:00（第5会場（B5-7））

「JART・JSRTの国際的な取り組みについて」

- ① JARTの国際戦略と国際委員会の取り組み
- ② 日本放射線技術学会が考える国際化支援
- ③ 放射線技術学教育のアジア展開

司会	豊田厚生病院	柴田 英輝
司会	東京大学医学部附属病院	岩永 秀幸
	新潟医療福祉大学	児玉 直樹
	東京大学医学部附属病院	岩永 秀幸
	福島県立医科大学	山品 博子

学術企画⑫（JART放射線被ばく相談員分科会、JART医療被ばく安全管理委員会、JSRT放射線防護部会）

11月2日（土）15:10～16:30（第2会場（B1））

「小児股関節生殖腺シールドの廃止に向けて」

- ① 小児股関節生殖腺シールドの廃止に向けた動向
- ② 実際に取り組んでいる施設からの報告①
- ③ 実際に取り組んでいる施設からの報告②
- ④ 小児の股関節撮影における生殖腺シールドの取りやめに向けて

司会	神戸常盤大学	木村 英理
司会	中央医療技術専門学校	平松 雅樹
	金沢大学	松原 孝祐
	ベルランド総合病院	鈴木 賢昭
	上尾中央総合病院	佐々木 健
	国際医療福祉大学成田病院	五十嵐 隆元

学術企画⑬（日本放射線カウンセリング学会、JART医療被ばく安全管理委員会、JSRT放射線防護委員会）

11月2日（土）16:40～18:00（第2会場（B1））

「患者さんから声をかけられた その時あなたは？」

- ① 被ばく相談を受ける際に必要なスキルとは
- ② 必要なスキル①「準備・専門知識」
- ③ 必要なスキル②「傾聴」
- ④ 必要なスキル③「話し方・伝え方」

司会	群馬県立県民健康科学大学	五十嵐 博
司会	筑波大学	森 祐太郎
	東京メディカルクリニック	荒木 智一
	東千葉メディカルセンター	伊藤 肇
	大阪ハイテクノロジー専門学校	小松 裕司
	神戸常盤大学	木村 英理

学術企画⑭（JART人材育成委員会）

11月2日（土）17:10～18:00（第3会場（B2））

「人材育成におけるマネジメントラダーの活用について」

- ① 日本診療放射線技師会のマネジメントラダーについて
- ② 大学病院におけるラダーの活用方法について
- ③ 民間病院におけるラダーの活用方法について

司会	純真学園大学	中村 泰彦
司会	昭和大学	加藤 京一
	純真学園大学	中村 泰彦
	昭和大学	加藤 京一
	高浜豊田病院	前田 佳彦

学術企画⑮（JART放射線治療分科会、JSRT放射線治療部会）

11月3日（日）10:00～11:50（第1会場（劇場））

「IGRTの一次照合の取り組み -実践能力を高める-」

- ① IGRTの一次照合を理解する
- ② 一次照合能力の向上に向けたJJの取り組み
- ③ IGRTの一次照合のスキルアップ
パネルディスカッション

司会	都島放射線科クリニック	辰巳 大作
司会	自治医科大学附属病院	根本 幹央
	多根総合病院	川守田 龍
	都島放射線科クリニック	辰巳 大作
	栃木県立がんセンター	伊藤 憲一
	司会 近畿大学病院	松本 賢治
司会	京都府立医科大学附属病院	太田 誠一
	広島平和クリニック	小野 薫
	手稲溪仁会病院	佐々木 文博
	徳島大学大学院	佐々木 幹治

- ① 実臨床で遭遇したIGRTのピットフォール（転移性脳腫瘍と食道がんを例に）
- ② SGRT装置のメリットとデメリット
- ③ IGRT教育における位置照合と提案能力の養成：課題と解決策

④ 施設プロトコルの作成

茨城県立中央病院 篠田 和哉

学術企画② (日本放射線公衆安全学会、JSRT放射線関係法令委員会)

11月3日(日) 10:00~11:50 (第5会場 (B5-7))

「放射線管理人材の育成」

- ① 放射線業務従事者の管理を国際原子力機関はどう規定しているか?
- ② 海外での放射線作業者の被ばく管理の一元管理の事例紹介
- ③ 放射線診療従事者管理の現状と課題
- ④ 病院の職業被ばく管理や放射線管理人材育成の課題
- ⑤ 若手の放射線管理の実践
- ⑥ 施設の職業被ばく管理体制をどうするか

司会 甲府共立病院 佐藤 洋一
司会 日本赤十字社 和歌山医療センター 荒井 一正
司会 駒澤大学 平木 仁史
国立保健医療科学院 山口 一郎
九州大学 藤淵 俊王
東京都庁 小林 剛
さいたま赤十字病院 北山 早苗
上尾中央総合病院 茂木 大哉
上尾中央総合病院 佐々木 健

教育セミナー

教育セミナー① 超音波検査

11月1日(金) 9:00~9:50 (第6会場 (展1))

「ここまで見える超音波検査 (皮下・整形領域)」

司会 熊本赤十字病院 西小野 昭人
西田病院 江藤 芳浩

教育セミナー② 画像解析

11月1日(金) 14:10~15:00 (第2会場 (B1))

「X線画像系モダリティにおける空間分解能の理解」

司会 岐阜医療科学大学 篠原 範充
岡山大学 福井 亮平

教育セミナー③ 被ばく相談

11月2日(土) 9:00~9:50 (第3会場 (B2))

「被ばく相談の現状と対応のポイント」

司会 学校法人大阪滋慶学園 大阪ハイテクノロジー専門学校 小松 裕司
群馬県立県民健康科学大学 五十嵐 博

教育セミナー④ 一般撮影

11月2日(土) 9:00~9:50 (第4会場 (B3+4))

「一般撮影に関する撮影技術の変遷とシステムの進歩」

司会 地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 中前 光弘
川崎市立井田病院 三宅 博之

教育セミナー⑤ MRI (臨床)

11月2日(土) 9:00~9:50 (第5会場 (B5-7))

「認知症に関する画像診断の基礎知識」

司会 中頭病院 宮崎 信義
新潟医療福祉大学 児玉 直樹

教育セミナー⑥ 計測関連

11月2日(土) 9:00~9:50 (第6会場 (展1))

「漏洩X線量測定について」

司会 愛知学院大学歯学部附属病院 後藤 賢一
新潟医療福祉大学 関本 道治

教育セミナー⑦ 人工知能

11月2日(土) 16:10~17:00 (第3会場 (B2))

「これから始める機械学習 - SVMモデルの仕組みとデータ分析 -」

司会 大分県立病院 西嶋 康二郎
株式会社A I メディカルサービス 瀬尾 光広

教育セミナー⑧ 画像管理

11月2日(土) 16:10~17:00 (第4会場 (B3+4))

「画像診断用ディスプレイ管理の現状と問題点」

1. 画像診断用ディスプレイの管理
2. 医療機器ディスプレイの要件と品質管理手法について

司会 豊橋市民病院 原瀬 正敏
東北大学 坂本 博
日本画像医療システム工業会 前田 一哉

教育セミナー⑨ CT

11月3日(日) 9:00~9:50 (第2会場 (B1))

「フォトンカウンティング検出器の基礎と展望」

司会 岐阜大学医学部附属病院 三好 利治
金沢大学 市川 勝弘

教育セミナー⑩ MRI (技術)

11月3日(日) 9:00~9:50 (第3会場 (B2))

「圧縮センシングとスパースモデルの基礎」

司会 徳島文理大学 山村 憲一郎
徳島文理大学 中村 昌文

教育セミナー⑪ 管理者教育

11月3日(日) 9:00~9:50 (第5会場 (B5-7))

「放射線部門に求められるマネジメントスキル」

司会 済生会熊本病院 沖川 隆志
久留米大学病院 川田 秀道

情報提供講座

情報提供講座① STAT画像所見報告

11月1日(金) 9:00~9:50 (第1会場(劇場))
「STAT画像所見報告ガイドラインと実践例」

司会 昭和大学横浜市北部病院 中井 雄一
順天堂大学医学部附属順天堂医院 木暮 陽介

情報提供講座② 医療情報関連

11月1日(金) 9:00~9:50 (第2会場(B1))
「大規模言語モデルとその応用」

司会 千葉ろうさい病院 多田 浩章
北海道科学大学 谷川原 綾子

情報提供講座③ 水晶体被ばく

11月1日(金) 9:00~9:50 (第3会場(B2))
「水晶体被ばくに関わる近年の動向」

司会 鹿児島医療センター 宮島 隆一
九州大学 藤淵 俊王

情報提供講座④ 核医学検査

11月1日(金) 9:00~9:50 (第4会場(B3+4))
「近未来的診断用放射性薬剤と撮像技術」
1. アミロイドPET検査の撮像技術
2. PSMA-PET診療に備えて

司会 弘前大学大学院 奥田 光一
北里大学 我妻 慧
大阪大学医学部附属病院 神谷 貴史

情報提供講座⑤ タスクシフト①

11月1日(金) 9:00~9:50 (第5会場(B5-7))
「タスクシフト・シェアに関するガイドラインの解説 ~MRI・CT造影検査、血管造影・IVR~」

司会 東京北医療センター 菊地 克彦
帝京大学 富田 博信

情報提供講座⑥ タスクシフト②

11月2日(土) 9:00~9:50 (第2会場(B1))
① 画像誘導放射線治療(IGRT)
② 核医学におけるタスクシェアとタスクシフト ~良質な医療の効率的な提供と医療安全の両立~

司会 多根総合病院 川守田 龍
新潟県立中央病院 大坂 暁胤
滋賀医科大学 木田 哲生

情報提供講座⑦ 放射線治療測定技術

11月2日(土) 16:10~17:00 (第5会場(B5-7))
「基準ビームデータを用いた放射線治療装置の立ち上げ」
1. ガイドライン、エレクトラ編
2. バリアン編

司会 北海道大学病院 松尾 勇斗
都島放射線科クリニック 辰己 大作
九州大学病院 廣瀬 貴章

情報提供講座⑧ 核医学治療

11月3日(日) 9:00~9:50 (第4会場(B3+4))
「核医学治療の最前線」

司会 がん研究会有明病院 山下 康輔
金沢大学附属病院 小西 貴広

情報提供講座⑨ 被ばく管理

11月3日(日) 9:00~9:50 (第6会場(展1))
「医療被ばく低減施設認定の意義と取得の効果」
1. 医療被ばく低減施設認定の意義と認定までの流れ
2. 医療被ばく低減施設認定審査への道のり
3. 医療被ばく低減施設認定を取得して

司会 中央医療技術専門学校 平松 雅樹
ベルランド総合病院 鈴木 賢昭
聖マリ安娜医科大学病院 佐藤 寛之
獨協医科大学病院 福住 徹

JIRAワークショップ

10月31日(木) 14:10~16:00 (第6会場(展1))
「被ばく線量管理システムのさらなる普及に向けたユーザ側とメーカー側の連携」

- ① 線量情報に関するDICOM規格動向
- ② 線量管理システムへ記録される情報とその活用
- ③ 線量管理システムの学術的動向
- ④ 医療被ばく低減施設における線量管理の実践

司会 金沢大学 松原 孝祐
司会 コニカミノルタ株式会社 長束 澄也
株式会社千代田テクノロ 四方田 章裕
バイエル薬品株式会社 山内 宏祥
倉敷中央病院 福永 正明
ベルランド総合病院 鈴木 賢昭

JIRA発表会(第41回)

11月1日(金) 15:10~17:20 (第6会場(展1))
技術-1

- ① 巡回健診向けクラウドAIソリューションSenciafinder Cloud
- ② 急性期医療情報統合ビューアAbierto™ Cockpit for ERの開発
- ③ X線透視撮影装置における内視鏡検査支援の取り組み
- ④ より安全かつ効率的な撮影をめざした乳幼児撮影台PASTELの開発

座長 JIRA技術広報専門委員会 委員長 長束 澄也
コメンテータ 東京都立大学 根岸 徹
コニカミノルタ株式会社 松下 航
キャノンメディカルシステムズ株式会社 割石 奈生
株式会社島津製作所 若山 直彦
株式会社大林製作所 俵 正太郎

- ⑤ 低線量撮影を実現したアルミグリッドの開発
⑥ 単純X線撮影の業務支援および医療安全に貢献する Positioning-i の部位拡張
⑦ AI技術活用の椎間線自動認識機能を追加したX線骨密度測定装置ALPHYS LF

Jpi ジャパン株式会社 良知 義晃
コニカミノルタ株式会社 深津 幸助
富士フイルム株式会社 藤本 翔

技術 - 2

- ① AIと共に歩む、第5世代Dual Source CT - SOMATOM Pro.Pulse
② 安全かつ最適な造影環境を提供する DUAL SHOT GX10
③ 重粒子線がん治療装置における患者位置決めソフトウェアの特長
④ MR装置 Vantage Galan 3T / Supreme Editionの開発
⑤ 液体ヘリウムを全く使わない1.5T超電導MRI「ECHELON Smart ZeroHelium」
⑥ 超音波内視鏡検査を目的とした超音波診断装置「Aplio i800 EUS」の開発

座長 JIRA 学術専門委員会 委員長 保坂 健一
コメンテータ 千葉市立海浜病院 高木 卓
シーメンスヘルスケア株式会社 日和佐 剛
株式会社根本杏林堂 小林 弘幸
東芝エネルギーシステムズ株式会社 添川 泰大
キヤノンメディカルシステムズ株式会社 渡辺 広太
富士フイルム株式会社 京谷 勉輔
キヤノンメディカルシステムズ株式会社 郷田 晃央

ランチョンセミナー (予定)

10月31日(木) 12:00~12:50 4会場 (予定)
11月1日(金) 12:00~12:50 5会場 (予定)
11月2日(土) 12:00~12:50 5会場 (予定)
11月3日(日) 12:00~12:50 3会場 (予定)

イブニングセミナー

11月1日(金) 17:10~18:00 (第2会場 (B1))

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

企業展示 (展示棟)

10月31日(木) 10:00~17:00
11月1日(金) 9:00~17:00
11月2日(土) 9:00~17:00
11月3日(日) 9:00~11:50

情報交換会

- ・日 時: 11月2日(土) 18:15~20:15
- ・会 場: 学会会場 (沖縄コンベンションセンター展示棟)
〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1 (<https://www.oki-conven.jp/>)
- ・会 費: 3,000円 (税込み)
- ・参加受付はJJRSで行います。定員になり次第、受付を終了します (定員: 300名・先着順)
- ・支払方法は、クレジットカードのみです。
- ・展示棟_チケット引き換え場で、情報交換会の領収書と引き換えで情報交換会のチケット/回数券をお渡しします。
- ・情報交換会は「課税 (10%税込)」です。

学術研究班報告

< 11月1日(金) 17:30~18:20 第3会場 >

「医療安全管理の保証・向上に資する放射線情報システムの標準データセットの作成」

北海道科学大学 谷川 琢海

< 11月1日(金) 17:30~18:20 第6会場 >

「幼児・小児の撮影線量と画質のバランスに関する検討 (2023-2024)」

福島県立医科大学 広藤 喜章

< 11月1日(金) 17:30~18:20 第6会場 >

「我が国の小児CT検査で患児が受ける線量の実態調査 (2023-2024)」

川崎医療福祉大学 竹井 泰孝

< 11月1日(金) 16:10~17:00 第5会場 >

「MRI検査の撮像技術の標準化に向けた調査研究」

新潟大学医歯学総合病院 金沢 勉

< 11月2日(土) 10:00~10:50 第6会場 >

「放射線医学領域のモダリティに対し横断的に線量評価および画質評価できる小児体幹部ファントムの開発」

東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 庄司 友和

< 10月31日(木) 17:20~18:10 第4会場 >

「¹⁷⁷Lu-DOTATATE画像におけるdosimetryの標準化に向けた多施設共同研究」

福島県立医科大学 宮司 典明

< 11月1日(金) 13:10~13:50 第4会場 >

「放射線技術学に特化した大規模言語モデルRadTechBERTの開発と評価用データセットの生成」

北海道科学大学 谷川原 綾子

第1回日本放射線医療技術学術大会 (JCRTM2024) プログラム

10月31日(木) (第1日目)	建物	会場名	収容人数	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30
	沖縄コンベンションセンター	第1会場(劇場)	1500		登録受付開始 9:00~				10:20-10:50 開会式	11:00-11:50 緊急報告企画 令和6年能登半島地震への 支援活動報告		12:00-12:50 ランチョンセミナー①
		第2会場(B1)	220				10:00-10:50 一般(報告) 放射線治療(CTシミュ レーション/治療計画)		11:00-11:50 一般(研究) 放射線治療(照射技術1)		12:00-12:50 ランチョンセミナー②	
		第3会場(B2)	110				10:00-10:50 一般(研究) CT(デュアルエナジー1)		11:00-11:50 一般(報告) CT(画質評価/被ばく)		12:00-12:50 ランチョンセミナー③	
		第4会場(B3+4)	110				10:00-10:50 一般(報告) 医療安全1		11:00-11:50 一般(研究) 核医学(撮像技術)			
		第5会場(B5-7)	160				10:00-10:50 一般(研究) MR(頭頸部血管・MRA)		11:00-11:50 一般(報告) MRI(脳撮像条件)		12:00-12:50 ランチョンセミナー④	
		第6会場(展1)	60				10:00-10:50 一般(報告) 放射線管理 (放射線被ばく)		11:00-11:50 一般(研究) 放射線計測(CT)			
		第7会場(展2)	60				10:00-10:40 一般(研究) 放射線防護(CT)		10:50-11:50 一般(報告) 乳房撮影			
		第8会場(展P1)	30									
		第9会場(展P2)	30									

下の表に続きます

13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30
	13:10-14:00 一般(研究) CT(心・大血管1)		14:10-15:00 一般(研究) CT(造影1)		15:10-15:50 一般(研究) CT(頭部)		16:10-18:00 学術企画③ (JART骨関節撮影分科会・JSRT撮影部会・画像部会) X線撮影の標準化を考える				
	13:10-14:00 一般(研究) 放射線治療(治療計画1)		14:10-15:00 一般(研究) 放射線治療(撮影技術1)		15:10-16:00 一般(研究) 放射線治療(粒子線治療1)		16:10-18:00 学術企画④(JART放射線管理士分科会・医療被ばく安全管理委員会・JSRT計測部会) JART with JSRT計測部会 求められる線量管理時代 ~医療被ばく低減施設認定事業開始から20年 これから認定取得を目指す方へ~				
	13:10-14:30 学術企画① (日本放射線技師教育学会・JSRT教育委員会) 教育の在り方と社会貢献を考える		14:40-16:00 学術企画② (JART倫理委員会・JSRT倫理審査委員会) 両会の研究倫理・報告等について				16:10-17:00 一般(報告) 医療基礎 (業務効率化/その他)	17:10-18:00 一般(研究) CT(フォトンカウンティ ング・デュアルエナジー)			
	13:10-14:00 一般(報告) 教育(多職種連携)		14:10-15:00 一般(研究) 核医学 (アミロイド・認知症)		15:10-16:10 一般(報告) 核医学(SPECT)		16:20-17:10 一般(研究) 核医学(心筋血流)	17:20-18:10 一般(研究) 核医学(線量評価)			
	13:10-14:00 一般(研究) 放射線防護 (水晶体被ばく1)		14:10-15:10 一般(研究) 透視・IVR(心血管疾患)		15:20-16:10 一般(研究) MR(脳)		16:20-17:10 一般(研究) MR(動脈)	17:20-18:10 一般(研究) MR (T1・T2値 推定・精度)			
	13:10-14:00 一般(報告) 放射線管理 (被ばく管理1)		14:10-16:00 JIRAワークショップ 被ばく線量管理システムのさらなる普及に向けた ユーザ側とメーカー側の連携				16:10-16:40 一般(研究) Ai	16:50-17:30 一般(研究) 医療安全2	17:40-18:10 一般(研究) 前臨床		
	13:10-14:00 一般(研究) X線(臨床技術1)		14:10-15:00 一般(報告) X線(条件/技術)		15:10-16:00 一般(研究) X線(臨床技術2)		16:10-16:50 一般(報告) 教育(技師教育1)	17:00-17:50 一般(研究) 画像(撮影支援・予測)			
	13:10-13:40 ポスター研究 MR(四肢)	13:45-14:15 ポスター研究 MR(脳・脊髄)	14:20-14:50 ポスター報告 働き方/その他	14:55-15:25 ポスター研究 画像 (深層学習1)	15:30-16:00 ポスター報告 X線撮影・ 消化管撮影	16:05-16:35 ポスター研究 CT(デュアル エナジー2)	16:40-17:10 ポスター報告 CT(教育/画質)	17:15-17:45 ポスター研究 医療情報(線量管 理・システム構築1)			
	13:10-13:40 ポスター報告 医療安全2/医療基礎 タスクシフト	13:45-14:15 ポスター研究 教育1	14:20-14:50 ポスター報告 X線撮影/骨密度	14:55-15:25 ポスター研究 医療安全1		16:05-16:35 ポスター報告 放射線管理 (被ばく管理2)	16:40-17:10 ポスター研究 放射線治療 (治療計画2)	17:15-17:45 ポスター研究 放射線治療 (線量評価1)			

15:30-15:45 ポスター研究
透視・IVR(CBCT・CT透視)15:45-16:00 ポスター報告
被ばく管理(透視・IVR)

第1回日本放射線医療技術学術大会(JCRTM2024)プログラム	11月1日(金) (第2日目)	建物	会場名	収容人数	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30
		沖縄コンベンションセンター	第1会場(劇場)	1500	登録受付開始 8:30~		9:00-9:50 情報提供講座① STAT画像所見報告ガイド ラインと実践例		10:00-11:50 学術企画⑤(JART STAT画像報告委員会、 JSRT撮影部会・教育委員会・学術委員会) 診療放射線技師によるSTAT画像報告			12:00-12:50 ランチョンセミナー⑤	
			第2会場(B1)	220			9:00-9:50 情報提供講座② 医療情報関連 大規模 言語モデルとその応用		10:00-11:50 学術企画⑥(日本医用画像管理学会、 JART医療画像情報精度管理士分科会、JSRT医療情報部会) 医用画像領域における医療情報再考			12:00-12:50 ランチョンセミナー⑥	
			第3会場(B2)	110			9:00-9:50 情報提供講座③ 水晶体被ばく 水晶体被 ばくに関する近年の動向		10:00-11:50 学術企画⑦ (JART医療安全対策委員会、JSRT医療安全委員会) 業務拡大の現状及び教育機関を含めた今後の展開			12:00-12:50 ランチョンセミナー⑦	
			第4会場(B3+4)	110			9:00-9:50 情報提供講座④ 核医学検査		10:00-10:50 一般(研究) 放射線防護(シミュレ ーション・その他)	11:00-11:50 一般(研究) 放射線防護(防護対策1)		12:00-12:50 ランチョンセミナー⑧	
			第5会場(B5-7)	160			9:00-9:50 情報提供講座⑤ タスクシフト① MRI・CT 造影検査、血管造影・IVR		10:00-10:50 一般(研究) MR(エラストグラフィ)	11:00-11:50 一般(報告) MRI(臨床報告)		12:00-12:50 ランチョンセミナー⑨	
			第6会場(展1)	60			9:00-9:50 教育セミナー① 超音波検査 これまで見える 超音波検査(皮下・整形領域)		10:00-10:40 一般(報告) 超音波	11:00-11:50 透視・IVR(画像評価1)			
			第7会場(展2)	60					10:00-10:50 一般(研究) 核医学(脳血流)	11:00-11:50 一般(報告) 核医学(PET)			
			第8会場(展P1)	30				10:00-10:30 ポスター報告 医療基礎(業務効 率/マネジメント)	10:35-11:05 ポスター研究 放射線治療 (撮影技術2)	11:10-11:40 ポスター研究 放射線治療 (QA・QC1)			
			第9会場(展P2)	30				10:00-10:30 ポスター研究 CT(フォトンカ ウンティング)	10:35-11:05 ポスター研究 CT(心・ 大血管2)	11:10-11:40 ポスター研究 CT(画像解析・ 評価1)			
	11月2日(土) (第3日目)	建物	会場名	収容人数	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30
		沖縄コンベンションセンター	第1会場(劇場)	1500	登録受付開始 8:30~		9:00-9:50 教育講演② 心臓血管外科領域にお ける手術支援画像の必要性とその実 際～画像構築スキルは、手術成績向 上、合併症回避に不可欠なツール～		10:00-11:50 学術企画④ (JART画像等手術支援分科会、JSRT撮影部会) 手術支援画像作成のためにすべきことは			12:00-12:50 ランチョンセミナー⑩	
			第2会場(B1)	220			9:00-9:50 情報提供講座⑥ タスクシフト②		10:00-11:50 学術企画⑤ (JART放射線機器管理士分科会、JSRT標準化委員会) 放射線医療機器の安全管理の“これまで”と“これから”			12:00-12:50 ランチョンセミナー⑪	
			第3会場(B2)	110			9:00-9:50 教育セミナー③ 被ばく相談 被ばく相談の 現状と対応のポイント		10:30-11:50 JART表彰式			12:00-12:50 ランチョンセミナー⑫	
			第4会場(B3+4)	110			9:00-9:50 教育セミナー④ 一般撮影 一般撮影に関する撮 影技術の変遷とシステムの進歩		10:00-10:50 一般(研究) X線(性能評価)	11:00-11:50 一般(報告) X線撮影 (業務改善/ファントム)		12:00-12:50 ランチョンセミナー⑬	
			第5会場(B5-7)	160			9:00-9:50 教育セミナー⑤ MRI(臨床) 認知症に関 する画像診断の基礎知識		10:00-10:50 一般(研究) 業務改善1	11:00-11:50 一般(報告) 放射線治療(IIGRT)		12:00-12:50 ランチョンセミナー⑭	
			第6会場(展1)	60			9:00-9:50 教育セミナー⑥ 計測関連 漏洩X線量測定について		10:00-10:50 一般(研究) 放射線計測 (性能評価)	11:00-11:30 一般(研究) 放射線計測 (X線透視・治療)			
			第7会場(展2)	60					10:00-10:50 一般(報告) 教育(技師教育2)	11:00-11:50 一般(研究) 教育2			
			第8会場(展P1)	30				10:00-10:30 ポスター研究 核医学(その他)	10:35-11:05 ポスター研究 業務改善2	11:10-11:40 ポスター研究 MR(DWI/ ADC1)			
			第9会場(展P2)	30				10:00-10:30 ポスター報告 放射線治療(業務 フロー/その他)	10:35-11:05 ポスター報告 放射線治療(タ スクシフト/シェア)	11:10-11:40 ポスター研究 CT(造影2)			
	11月3日(日) (第4日目)	建物	会場名	収容人数	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30
		沖縄コンベンションセンター	第1会場(劇場)	1500	登録受付開始 8:30~		9:00-9:50 教育講演③ 診療放射線技師 の一次照会に期待するもの みんなで考えるImage-Guided Radiation Therapy(IIGRT)		10:00-11:50 学術企画④ (JART放射線治療分科会、JSRT放射線治療部会) IIGRTの一次照会の取り組み 実践能力を高める				
			第2会場(B1)	220			9:00-9:50 教育セミナー⑧ CT フォトンカウンティ ング検出器の基礎と展望		10:00-10:50 一般(報告) CT(手術支援)	11:00-11:50 一般(研究) CT(画像解析・その他)		12:00-12:50 ランチョンセミナー⑮	
			第3会場(B2)	110			9:00-9:50 教育セミナー⑩ MRI(技 術) 圧縮センシングとス パースモデルの基礎		10:00-10:50 一般(報告) MRI(安全性/他)	11:00-11:50 一般(報告) MRI(画質評価2)		12:00-12:50 ランチョンセミナー⑯	
			第4会場(B3+4)	110			9:00-9:50 情報提供講座⑧ 核医学治療 核医学治療の 最前線		10:00-10:40 一般(研究) 核医学(核医学治療)	11:00-11:50 一般(研究) 核医学(心臓)			
			第5会場(B5-7)	160			9:00-9:50 教育セミナー⑪ 管理者教育 放射線部門に求められる マネジメントスキル		10:00-11:50 学術企画② (日本放射線公衆安全学会、JSRT放射線関係法令委員会) 放射線管理人材の育成			12:00-12:50 ランチョンセミナー⑰	
			第6会場(展1)	60			9:00-9:50 情報提供講座⑨ 被ばく管理		10:00-10:40 一般(研究) 放射線計測 (マンモグラフィ)	11:00-11:50 一般(研究) 画像(オミックス)			

私なりのキャリアアップ

シリーズ連載
series serialization

五感 — five senses

ダイバーシティの推進が叫ばれている現代社会において、子育てをしながらキャリアアップすることは難しいと考えている方が多いのではないのでしょうか。

この解は「限りある時間をどう使うか」ではないかと私は考えます。この考えは1日の中であったり、特定の期間であったり、生涯といった、それぞれのモノサシの中で思考し、実践することだと思います。

では、この忙しい世の中において「限りある時間」から自分のキャリアアップの時間をどうつくればいいのか。

同時進行を可能な限り制限する

乳幼児期の子育て期間は、やらなければならないことが多い。しかも次から次へと出現し、これらが同時進行になっていく。さらに幼い娘たちの予測不能な行動パターンにも悩まされる。この状況で同時進行を止めることは難しいですが、重要な一つを決めることはできます。「これが完了するまでは次のことをしない」とすることで、心に柔軟性とゆとりが生じ、子育てにもキャリアアップにも有効です。これは、娘たちが幼稚園の頃の私の行動パターンであり、幼い娘も寂しさを感じることなく時間を共有して過ごせたと思います。

先に時間を確保する

例えば月末にお金が残ったら貯金しようと思ってもこれを実現することは難しく、逆に先に預金をし、余ったお金で月末まで過ごすことはたやすいのではないのでしょうか。

私は、自分自身の勤務時間、家事の時間、小学生から中学生へと

成長した娘たちと過ごす貴重な時間を明確にし、1日の中や1週間の中で自分のキャリアアップに割ける時間を、可能な限りではありますが確保してきました。つまり「時間が余ったら行く」では、キャリアアップの時間をつくることはできないのだと思います。

挑戦するためには何かを切り捨てる

「限りある時間」であるため、全てのやりたいことを行うことはできないと認識し、自分の中で優先度を付け、中くらい以下のタスクを思い切って捨てることも必要ではないのでしょうか。この判断には、自分のやりたいことばかりではなく、娘たちの成長・進学といった幾つもの視点があるように思います。私の場合は、新たな挑戦に向け「切り捨て」の対象にしたものに生活圏や職場環境もありました。これにより学位への挑戦が始まり、娘たちとの新たな大切な時間を育むことができたのだと思います。

少し大げさに書いていますが、私はこれらを実践することで満足度の高い生活を送り、キャリアアップすることができるのだと思います。ただし、これらを行う中でいつも大切にしてきたことは「人と人との、人としてのつながり」であり、多くの友人や職場の方々、仲間にも助けられてきたことは否めません。この場を借りて、私をサポートしていただいた方々に「ありがとう」と伝えさせていただきます。

そして最後に私自身に言い聞かせるためにも、この言葉を書き記したいと思います。

(文責：中村 登紀子〔2024.7.18執筆〕)

診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナーのお知らせ

■フレッシュャーズセミナー開催予定： 神奈川 9月1日(日) 静岡 9月8日(日) 鳥取 9月22日(日・祝)

9月・10月の講習会などスケジュールのご案内

- | | | |
|---|------------------------------|-----------------------------|
| ■ STAT 画像所見報告セミナー | ： Web 開催 | 2024年 9月25日(水)・10月28日(月) |
| ■ 3D ハンズオンスキルアップセミナー (初級編) | ： 東 京 | 2024年 9月29日(日) |
| ■ 放射線治療分科会生涯教育セミナー (治療計画・実践編) | ： 大 阪 | 2024年10月 5日(土) |
| ■ 放射線取扱主任者定期講習 | ： 東 京 | 2024年10月18日(金) |
| ■ 消化管造影セミナー | ： Web 開催 | 2024年10月24日(木) |
| ■ 認定資格試験 | ： 全国の CBT テストセンターのパソコンで試験を実施 | |
| (テストセンター一覧： https://cbs-s.com/examinee/testcenter/) | | 2024年9月17日(火)～2025年1月17日(金) |
| ■ 画像等手術支援認定診療放射線技師資格試験 | ： 全国の CBT テストセンターのパソコンで試験を実施 | |
| (テストセンター一覧： https://cbs-s.com/examinee/testcenter/) | | 2024年9月17日(火)～2025年1月17日(金) |

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

- 告示研修 (実技研修) / 業務拡大に伴う統一講習会 / 診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース (会場型) :
本会ホームページの「新着情報・お知らせ」または JART 情報システム (JARTIS) をご参照ください。

[e-ラーニング (ストリーミング方式)]

- | | |
|---|--|
| ■ 告示研修 (基礎研修) | 2026年3月31日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から告示研修終了までいつでも視聴いただけます。 |
| ■ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針
オンラインセミナー | 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日からセミナー終了までいつでも視聴いただけます。 |
| ■ 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理
のための研修 (在宅) | 2024年12月20日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2025年1月26日(日)までいつでも視聴いただけます。 |
| ■ 認定資格の取得を目指す在宅講習受講生の募集・ラダーレベル3 | 2024年12月20日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から各認定資格試験終了日前日までいつでも視聴いただけます。 |
| ■ 認定資格失効者講習会 (在宅) | 2024年12月20日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2025年1月26日(日)までいつでも視聴いただけます。 |
| ■ オンラインセミナー (在宅) : 本会ホームページの「新着情報・お知らせ」または JART 情報システム (JARTIS) をご参照ください。 | |

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日 (7月13日) および年末年始 (12月29日～1月3日) は執務致しません。